

令和6年度 保育園における自己点検

集計結果における検討結果の報告

令和6年度 保育園における自己点検集計結果を行いまして、検討した結果を報告いたします。

① 会議・研修の在り方について

保健・安全についての園内研修が充実しており、都度職員間で確認し合える場があることにより、保育にも活かすことが出来ている。職場の雰囲気がよく、互いに意見を出しやすい環境にある。皆がまんべんなく発言できるようにしていく。

今後も定期的に行っていくが、開催の仕方については職員の負担とならないよう、短時間で効率的に行うようにする。

全職員への周知の仕方については検討が必要であるとのことだったので、回覧の仕方を工夫していきたい。

② 情報発信について

ホームページやInstagramなどを活用し園の様子の発信を続けていることが、見学や入園希望へとつながっていると実感している。また、ドキュメントを作成することで、自らの保育の振り返りとなり、自身のスキルアップにつながっている。今後も園の取り組みが伝わるような情報発信を継続していく。

③ 保護者対応について

保護者からのご意見があった場合はすぐに職員間で共有し、全体で考え改善したり寄り添う努力をしている。すぐ対応する意識を持つことで、信頼関係につながり、行事や日常保育の面で温かい言葉を頂いている。また、保護者の方からの意見や職員の反省を次に活かし、よりよい保育にしていこうと努めている。ことが出来ている。また、園の考えや行事の進め方についてご理解いただけるよう日頃からの信頼関係をひとりひとりの職員が大切にしていく。

今後も速やかかつ丁寧に、意見や気持ちを聞き、寄り添う姿勢での対応を心がけていく。

④ 保育内容について

- ・自然物を取り入れた遊びや制作について学び、次年度より取り入れていけるようにする。
- ・不審者訓練において、不審者役が女性ばかりなので、男性役でも訓練を計画する。
- ・小学校とのつながりについては近隣に園が多く、偏った繋がりが難しい。
- ・他施設との交流について、未満児クラスでは様子がわからないところもあったので、取り組みについて以上児クラスと情報交換できるとよい。